

Ref:122105-510943-(02)



LX810

カラーラベルプリンタ 取扱い説明書

MUNAZO CO.,LTD

ムナゾウ株式会社

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 6-9

KOBE FM

Phone 078-857-5447 Fax078-857-5443

e-mail : munazo@munazo.jp

<http://munazo.jp>

通信機器・制御機器の注文に際してのお願い

通信機器・制御機器のお見積、ご注文に際しましては、見積書・カタログ・仕様書などに特記事項のない場合、下記一般条項をご承認の上、ご手配いただきます様をお願いします。

●保証期間と保証範囲

「保証期間」

納入品の保証期間は、弊社出荷日より1年と致します。

「保証範囲」

上記保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、その機器交換、又は修理を納入者側において行います。

次に該当する場合は、この保証対象から除外させていただきます。

設置環境下における機器特性の変化

需要者側の不適切な取扱いならびに使用。

故障の原因が納入品以外の事由による場合。

その他、天災・災害などで納入者側の責にあらざる場合。

尚、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

** 納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。 **

本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。

本書内において万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡下さい。

運用した結果の影響について 項にかかわらず一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

プリンタを正しくお使いいただくために

プリンタは、光学 / 精密電子機器ですのでお取扱いには十分なご注意が必要です。下記内容のご注意点の遵守をお願いいたします。

ご注意点



- 熱の発生源の近く、直射日光の当る場所、電磁界、腐食ガスの環境、埃の多い所、使用周囲温度(15～30) / 使用周囲湿度(10～80%)を越える場所に設置しないでください。*但し結露なきこと。
- 本体を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにして下さい。
- 振動や衝撃の加わる場所での設置はしないで下さい。また、本体や電源コード等の上に物を載せないで下さい。故障による火災・感電の原因となります。
- 排熱のための通風口をふさがないで下さい。故障による火災の原因となります。
- 水場付近では使用しないで下さい。
- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。火災や感電の原因となります。
また、分解された場合には保証期間中であっても無償保証の対象外となります。
- 電源及び通信プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 付属の電源及び通信コード以外は使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本体から何かこげるような匂いがしたり、異様な音がしたときは直に電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- **機器に影響を与える恐れのある電磁波等が発生し易い装置のそばには設置はしないで下さい。**




設置回避場所
















- AC200V 以上のスイッチングを行う配電盤の周辺3m以内。
 - 配線 AC200V ケーブル(完全シールドされていない)設置周辺3m以内。
 - 配線 AC200V ケーブル(完全シールドされた)の切り替え部、例えばスイッチ BOX 等のケーブル軸の一部が露出した場所の周辺3m以内。
 - 印刷機、エアコンその他 AC200V 以上の電源で動作する制御装置周辺3m以内。
- 雷が近いときはすみやかに電源を OFF にし電源コードをコンセントから抜いて下さい。
 - 長時間使用しないときは、電池を OFF にし電源プラグはコンセントから抜いて下さい。漏電、火災の原因となります。
 - プリンタ記録紙は、乾燥した冷暗所に保存してください。
















安全上のご注意(必ずお守りください)

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

| | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 | この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

| | |
|---|---|
|  | 記号は、 注意 （危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています） |
|  | 記号は、 禁止 の行為であることを告げるものです。 （左の表示例は「分解禁止」を表しています） |
|  | 記号は、行為を 強制、指示 する内容を告げるものです。 （左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています） |

|  警告 | |
|---|--|
|  | 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 故障、火災の原因となります。 |
|  | 湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。 感電の原因となります。 |
|  | 引火、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。 プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
|  | 濡らさないでください。 液体が中に入ると発熱・感電・故障などの原因となります。 |
|  | 雷が鳴りだしたら、触れないでください。 落雷・感電の原因となります。 |
|  | 使用中、保管時に、異臭・発熱・変色・変形など今までと異なるときは、使用しないでください。 発熱・破裂・発火させる原因となります |
|  | 分解・改造をしないでください。また、直接ハンダ付けをしないでください。 感電・火災・故障の原因となります。 |
|  | 電源は国内の家庭用 AC100V コンセントを使用してください。 誤った電源で使用すると火災や故障の原因となります。 |
|  | 充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 ショートによる火災や故障の原因となります。 |
|  | 万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。 感電・発煙・火災の原因となります。 |
|  | 電源プラグに付いたほこりは拭きとってください。 火災の原因となります。 |
|  | 長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災・故障の原因となります。 |
|  | 濡れた手で電源プラグ、コンセントに触れないでください。 感電の原因となります。 |
|  | 火の中に投下しないでください。 漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。 |

|  警告 | |
|---|--|
|  | ACアダプタは正しくお使いください。 発熱、発火などによる火災、故障、感電、傷害の原因となります。 |
|  | 充電中は、充電機器を安定した場所に置いてください。また充電機器を布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。 本体が外れたり、熱がこもり、火災・故障の原因となります。 |
|  | コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。 火災・故障・感電・傷害の原因となります。 |
|  | 電池パック内部の液が目の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。 失明の原因となります。 |
|  | 電池パック内の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。 皮膚に傷害をおこす原因となります。 |
|  | 電源コードが傷んだら使用しないで下さい。 感電・発熱・火災の原因となります。 |
|  | 漏液したり異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。 |
|  注意 | |
|  | 電源コードを傷つけないでください。 火災や感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください 上に重いものを乗せたり、引っ張ったりしないでください 必ずアダプタ本体を持ってコンセントから抜いてください |
|  | お手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。 感電の原因となります。 |
|  | 湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。 |
|  | ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。 落下して、故障やけがの原因となります。 |
|  | 直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しないでください。 変形・故障の元となります。またやけどの原因となることもあります。 |
|  | 濡れた電池パックを充電しないでください。 発熱・発火・破裂の原因となります。 |

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 第1章: 始めに | |
| A. 設置場所 | 6 |
| B. 開梱検査 | 6 |
| C. 本体各部名称 | 7 |
| D. 電源オン | 8 |
| E. プリンタ・ドライバ、ラベル作成ソフト・インストール | 8 |
| 第2章: 消耗品とドライバ・セッティング | |
| A. インクカートリッジ及びラベル用紙について | 11 |
| B. ラベル用紙装着 | 12 |
| C. インクカートリッジ装着 | 15 |
| D. プリオンタ・ドライバ・セッティング | 16 |
| 第3章: LX810 使用方法 | |
| A. NiceLabel ソフトの使い方 | 20 |
| B. ラベル製作 | 20 |
| C. バーコード製作 | 25 |
| D. 他のアプリケーションからの印刷 | 31 |
| 第4章: トラブルシューティングとメンテナンス | |
| A. プリンタ・クリーニング | 32 |
| B. 基本的なトラブルとその対応 | 32 |
| C. 技術サポート | 33 |
| 第5章: ラベル定格 | 34 |
| 第6章: 仕様 | 35 |
| 第7章: 予備ポートの仕様 | 36 |

第1章 始めに

この度はLX810をお買い求めいただき有難うございます。このプリンタはお客様独自のフルカラーラベルを、迅速かつ簡単に製作していただくために最適の商品で、明瞭な文字やバーコード、鮮やかな色彩で生き生きとした写真を、ロール状のラベル及びカードタイプのラベルに直接に印刷します。簡単操作・高品質で、印字画像も耐久性にすぐれ、汚れ防止にも対応しております。

このプリンタをお使いになるに当たっては、まずこのマニュアルに述べております留意点を参照下さい。マニュアルは、この新しいカラーラベルプリンタを簡単かつ手早くセットアップし、印刷していただけるように各段階毎にその手順についてご説明しております。

A. 設置場所

- プリンタ内部に熱が滞留しないように空調が施されている環境下で、平らな場所に設置して下さい。
- ラジエータやエアダクトの様な熱発生源の近くや直射日光が当たる、埃が多い、振動や衝撃を受けやすいというような場所への設置は避けてください。
- 印刷・出力されたラベル紙が、折れ曲がったり重なったりしないように、プリンタ前面にスペースが必要です。大量の印刷が必要な場合、自動巻取機をお使い下さい。
- プリンタ上部も上部カバーの開閉、及びラベルやインクの補充や取替えが容易に行えるだけの十分なスペースを開けておく必要があります。

B. パッキングリスト

プリンタ開梱の際は、先ずカートン外観に輸送途上でのダメージがないか確認し、注意して箱からそれぞれの機器を取り出し、下記・の機器が揃っているか確認して下さい。

| | |
|--|--|
| | プリンタ |
| | AC電源アダプタ |
| | 電源コード |
| | USB ケーブル |
| | CD ROM(インストール・ソフトウェア) |
| | カラーインク・カートリッジ(再発注品番:53335) |
| | ダイバース・黒インクカートリッジ(再発注品番:53336) |
| | スタータ用ラベル紙ロール 6" x 4", 光沢紙 |
| | ティアバーガード 輸送時の保護目的でティアバーに付けられている白いプラスチックのシールドで、その片端は櫛状になっているものです。引っ張ると簡単にティアバーから取り外せます。切り取り線の入ったラベル用紙使用の場合、このガードを使って切り離す事をお勧めします。 |
| | 保証書及び利用者登録カード |
| | 取扱い説明書、その他印刷物 |

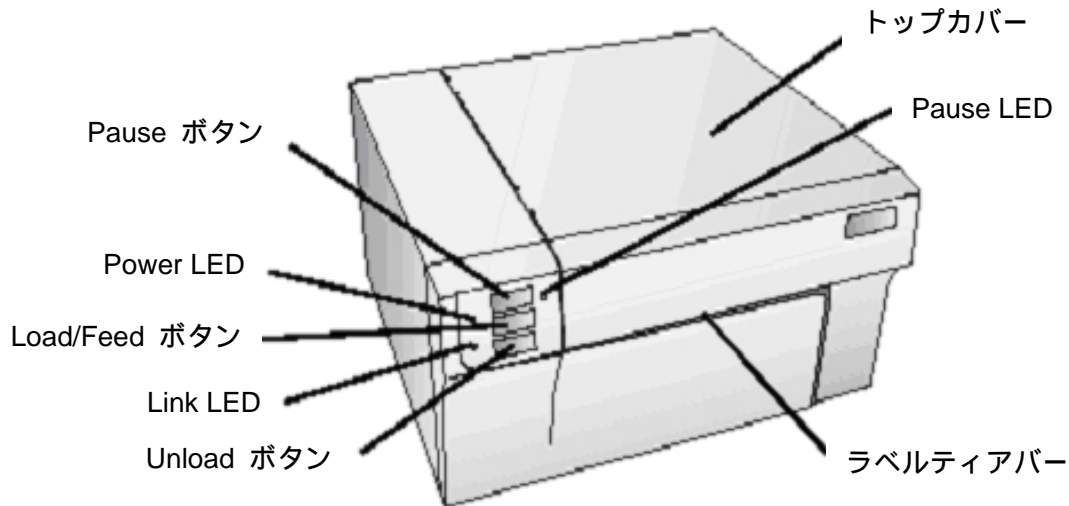
カートンや包装材料は保管しておく、移動の際に便利です。

日付 _____ / _____ / _____

担当 _____

C. 本体各部名称

この図はコントロールボタンや LED インディケーターライトがある本体前面です。



Pause ボタン : 1つのラベル印刷が完了した後で、ラベル用紙やインクカートリッジを装着する間に一時的にプリンタを休止させます。

Pause LED : プリンタがポーズ状態の時に点灯。LED 点灯の時に **Pause** ボタンを押すと、この LED は消え、プリンタが再度印刷出来る状態に戻ります。

Power LED : LX810 の電源がオンになっており、印刷が出来る状態にあることを表示。

Load/Feed ボタン : ラベル用紙を装着し、装着されたラベル用紙をフィードさせる場合に押します。

Ink LED : カートリッジのインク残量が10%以下になった場合点灯。

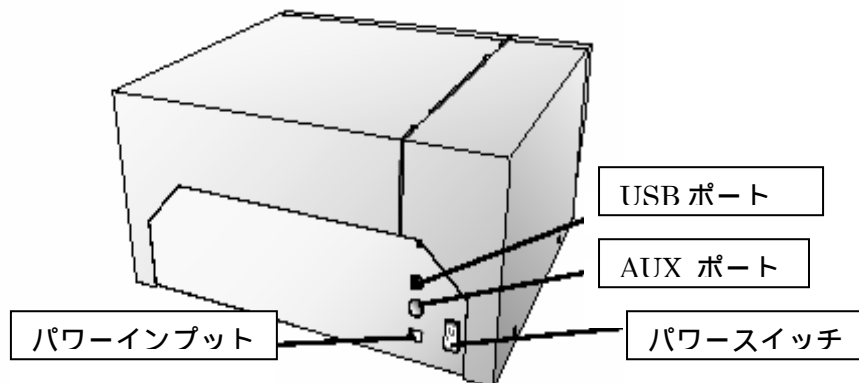
Unload ボタン : 装着しているラベル用紙の回転を反転させ用紙を取り外すことができます。このボタンの押す場合は、ラベル用紙の回転が反転しますので、印刷済みラベルは切り離しておいて下さい。

* 注記: ラベルロール紙を取り外す時は常にこの手順に従って下さい。ロール紙を最後まで送り出して取り外そうとしないで下さい。トラブルの原因になります。

ラベルティアバー : 印刷済みラベルを切り離す便宜上、エッジが楕状になっています。

* 注記: ティアバーのエッジは鋭くなっています。指や体の一部が触れないようにして下さい。

下はプリンタ背面の図で、パワースイッチ、インポートポートの位置を示しています。



D. PC 必要仕様

最適印字スピードを実現するには、PCは最低下記の仕様もものであることが必要です。

ペンティアム IV プロセッサ
512MB RAM
5GB 以上ハードドライブ空きスペース

E. MAC 必要仕様

G4 パワーPC700MHz、又は OS X 10.2 以上
256MB RAM
5GB 以上ハードドライブ空きスペース
USB ポート対応

プリンタは、キーボードの USB ハブ又は USB ポートにではなく本体の USB ポートに繋いで下さい。

これらの仕様が満たされていない場合、プリンタは適正に機能しません。

F. 電源オン

1. プリンタに同梱されているパワーアダプタの片方をプリンタ背面のパワーインポートポートにつないで下さい。
2. パワーコード・アダプタを壁面の AC コンセントに差し込んで下さい。
次にパワースイッチでプリンタのオン/オフを確認下さい。

G. プリンタ・ドライバ及びラベル作成ソフトのインストール

LX810 ラベルプリンタは、IBM-PC 又は Windows 2000/XP, MAC V10.2 以上 OS を持った各社 PC のほとんどすべてに対応しており、USB1.0/2.0 ポートを備えております。このポートはコンピュータからのデータを受信するためのものです。プリンタをコンピュータに接続するには同梱のシールド USB ケーブルを使用して下さい。ソフトウェアのインストールは以下の手順に従って下さい。

(PC インストレーション)

1. 同梱されている CD ROM をコンピュータに挿入して下さい。しばらくするとこのソフトのインストールプログラムが自動的に立ち上がります。もし立ち上がらない場合、次の手順に従って下さい。
 - a) マイコンピュータ・アイコンをダブルクリックし、次にこの CD が格納されているドライブをダブルクリックします。
 - b) INSTALL.exe をダブルクリック、次に"Quick Start Install"ボタンをダブルクリックして下さい。
2. 画面上の指示に従って、ソフトをインストールして下さい。
この手順は次の通りです。
 - a) プリンタ電源オン
 - b) USB ケーブル接続
しばらくすると、ウィンドウズがプリンタを検知し、プリンタ・ドライバのインストールを開始します。下記ダイアログボックスに従って、"**Continue anyway**"をクリックして下さい。



インストールが終わると、“Color Label Printer” アイコンがプリンタフォルダ中に表示されます。



3. プリンタ・ドライバが正しくインストールされると、コンピュータが画面上でラベル用紙・インクカートリッジの装着、及びカートリッジのキャリブレーション実施を指示してきます。画面の指示に従ってこのインストレーションを完了して下さい。ラベルやインク装着の詳細については次の章を参照下さい。

(ラベル作成ソフト・インストール)

次にインストーラが NiceLabel SE のインストールを立ち上げます。NiceLabel SE はラベルやバーコード製作用の簡単で使いやすいソフトです。インストールの手順は次の通りです。

1. 下記の画面で“Install”をクリックして下さい。



2. このソフトは日本語でも用意されております。次の画面で“Japanese”を選択していただきますと以降の画面は日本語表記となります。



3. 以降は画面に従って”次へ”をクリックしながら進み、終了して下さい。

注記: ソフトのインストールが完了しましたら、PCを再起動して下さい。これでプリンタはデフォルトの最適印字速度にセットされます。

MAC ドライバーインストール

1. インストール用の CD を PC に装着してください。数秒後“Color Label Printer(カラーラベルプリンタ)”のアイコンが画面に表示されます。
2. この“Color Label Printer”のアイコンをダブルクリックしてください。
3. ColorLabelSeries.pkg ファイルを選択しクリックするとインストールが起動します。
4. 画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを実行してください。
5. 電源を入れ USB ケーブルを繋いでください。プリンタの初期化完了後(ライトの点滅が停止したら)次のステップに進んでください。
6. このソフトのインストールが完了したら、プリンタ情報をセットする必要があります。アプリケーションのユーティリティーフォルダ中にある“Printer Setup Utility”を選択し開いてください。



7. **Add** をクリックし、プリンタのリストにある“Color Label Printer”を選択して、もう一度 **Add** をクリックしてください。



第2章 消耗品及びドライバのセッティング

A. インクカートリッジ及びラベル用紙

(インク:染料及び顔料ベース、ラベル用紙:光沢紙と普通紙)

フルカラー印刷用として、3色カラーインク・カートリッジが用意されています。このカートリッジはイエロー、マゼンタ、シアン3色プロセス・カラーインクで、すべてのラベルで最大印字カラー階調 16.7 百万色までの色を再現します。

モノクロームでは以下のように2種類のインクカートリッジを用意しており、1つは顔料ベースのモノクローム・ブラックのカートリッジで、これは普通紙用に適しています。普通紙は低価格ですが、防水性に劣ります。もう1種類は、染料ベースのモノクローム・ブラックで、これはハイ及びセミ光沢ラベル用に適したものです。

(モノクロームインクとラベル適正)

| インク | 推奨ラベル紙 |
|--------------------------|------------|
| 顔料ベースモノクローム・ブラック:PN53020 | 普通紙・ラベル |
| 染料ベースモノクローム・ブラック:PN53377 | セミ、ハイ光沢ラベル |

注記: バーコード印刷のための、多量のラベル・カートリッジを購入する必要がある時は、事前にラベルとカートリッジの最適な組み合わせチェックのため印字テスト・読取りテストを行った上で、インクカートリッジの購入を決定されることをお勧めします。

B. ラベル用紙装着

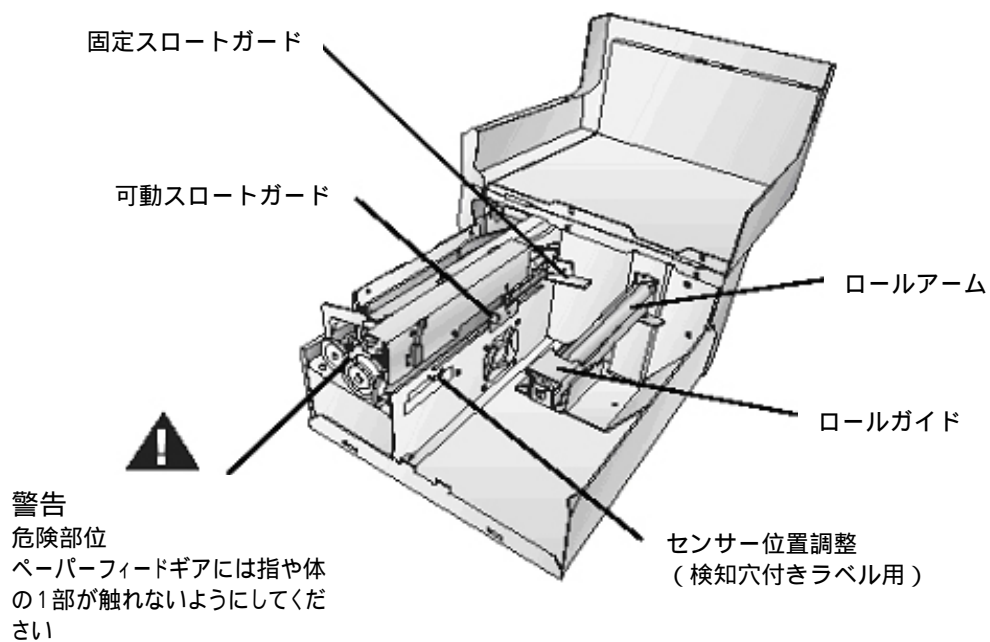
LX810 は色々な種類の紙ラベルが使用可能です。紙ラベルでインクジェット印字が可能、かつそのサイズそれが定められたサイズである限りは、LX810 で使用可能です。当社では LX810 用に色々な種類の紙ラベルを揃えております。

注記: 消耗品オーダーシートに掲載されているラベル紙は、すべて染料ベース・ブラックインク向けのセミ光沢・ハイ光沢紙のみですが、普通紙使用の場合、顔料ベース・ブラックインクが適しています。

ラベル紙サイズ・仕様

| | ロール紙 最大外形 | 巻き芯 内径 | 最小 ラベル幅 | 最大 ラベル幅 | 最小 ラベル長 | 最大 ラベル長 |
|--------|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| ミリメートル | 152.4 | 76.2 | 19.0 | 210.0 | 19.0 | 609.6 |

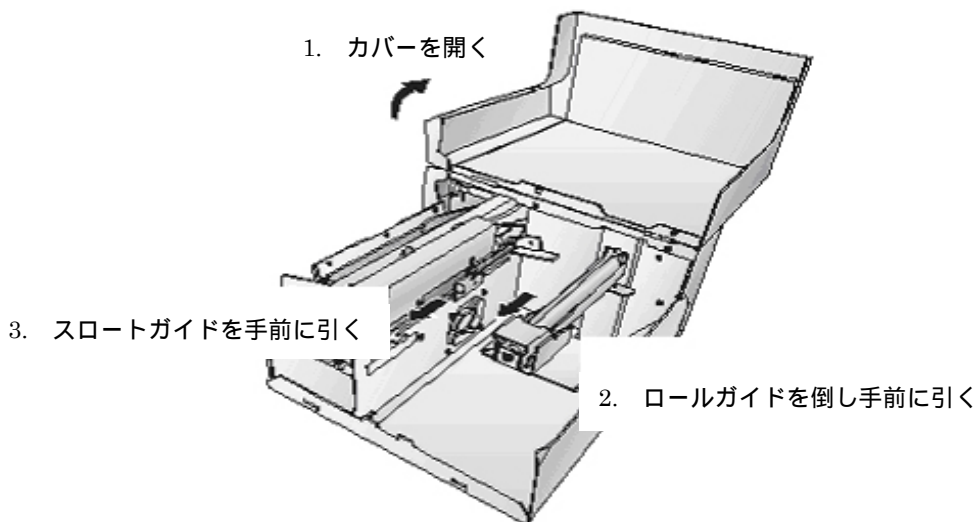
次の図はラベル紙を装着する場合に知っておいていただきたいプリンタ内部の各名称です。



ラベル紙装着

LX810 へのラベル紙装着手順は下記の通りです。電源はオンになっていることをご確認ください。

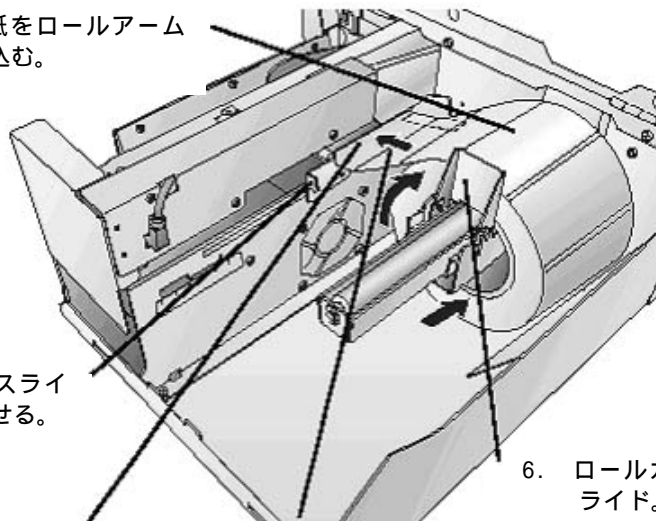
1. トップカバーを開きます。
2. ロールガイドを手前に倒し・手前にラベル用紙幅分だけスライドさせてください。
3. 同じくスロットガイドをラベル用紙幅分だけ手前に引いて下さい。



4. 輸送時にロール紙の巻取りが緩まないようにロール紙を固定しているテープを取り外して下さい。又この時、ロール紙の接着面が露出していないか確認して下さい。接着面が露出していると、この接着面がプリンタ内部の印字メカ部分にくっついたりして、ロール紙がフィードしない、又はジャムの原因となります。

5. ロールラベル紙をロールアームに差し込み、奥に当たる位置まで入れて下さい。
6. ロールガイドレバーを立て、スライドさせロール紙を軽く固定してください。
ロール紙のリーディングエッジを、スロートガイド上の“Label Stock”マークの位置に合わせて下さい。ロール紙は、スロートガイドに合わせてプリンタ・スロートの正しい位置に装着して下さい、但しこの時点ではロール紙はまだ印字メカ部分には差し込まず、固定スロートガイド上に乗せただけの状態にしてください。
可動スロートガイドを内側にスライドさせ、ロール紙に触れるか触れないかの位置で止めて下さい。この両方のスロートガイドは、ロール紙幅よりやや広めになっていなければなりません。ロール紙がこの両ガイドできつく締め過ぎられていると印刷品質の悪化や、ロール紙フィードのトラブルの原因ともなります。

5. ロール紙をロールアームに差し込む。



8. スロートガイドをスライドして紙幅に合わせる。

6. ロールガイドを内側にスライド。

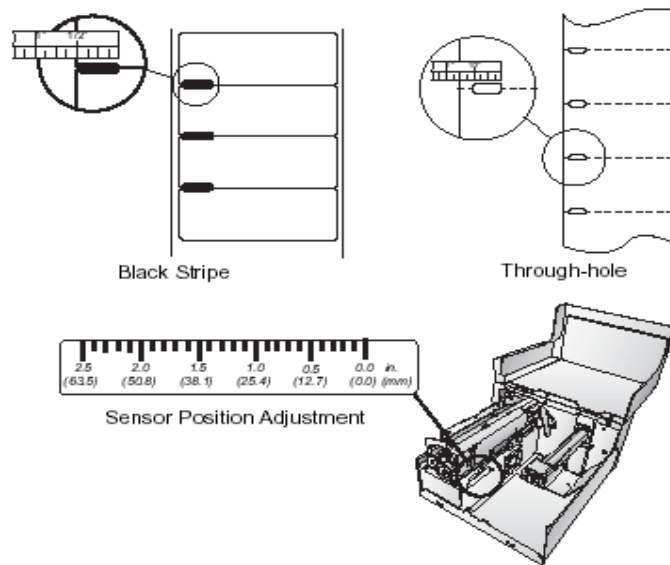
7. ロール紙のリーディングエッジをスロートガイド上に置く。但し、印刷メカ部分には差し込まない。

9. ロール紙をプリンタメカ部分に差し込み、プリンタがロール紙を感知すると自動的にプリンタ内にフィードされる。

プリンタがロール紙を感知する位置までロール紙を差し込むと、ロール紙は自動的にプリンタ内にフィードされます。フィードされない時は、ロール紙をプリンタ内に差し込みながら、プリンタ前面のフィードボタンを押して下さい。

印字部分に差し込む際、プリンタ前面のフィードボタンを押しながら差し込むとローラ・アセンブリにうまく差し込むことができます。

LX810 ではラベル検知穴付き用紙でも同じく感知します。このラベルの場合、穴は1つのラベルの終わり・次のラベルの始まりを示しますが、そのマークを正しく感知できるように、センサー位置調整タブで調整して下さい。センサー位置調整タブにはインチ及びミリメートルの目盛が付いており、この目盛を使いラベル位置確認マーク上にセンサーを合わせてタブをセットして下さい。これは、穴又はマーク中央からラベル紙のエッジまでの長さを測ってセットするものです。例えば、1/2 インチ幅の穴がついたラベルの場合、ラベルの端から 1/4 インチの所に合わせ、穴が 1/2 インチの所になるようにセット、このときセンサーが穴の部分にきているか確認して下さい。



注記: 黒いストライブのついた検知ラベルを使用する場合、プリンタ・ドライバ“SencerType setting”で黒いストライブ付きラベルの設定をしなければなりません。

これでラベル紙の装着が終わりました。カートリッジの装着については、次の項を参照下さい。

C. インクカートリッジ装着

LX810 にはインク・トラッキングシステムが内蔵されています。このシステムは、インク残量が少なくなった時にそれを知らせるようにデザインされているものです。この機能により、ラベルが的確に印刷され、人が常時監視している必要もなく、安心して一度に大量のラベル印刷が出来るようになっています。このシステムを的確に機能させるには、カートリッジが下記手順に従って正しく取り替えられなければなりません。この手順通り行われないと、インク残量検知が正しく行われず、印刷品質に悪影響を来す事にもなります。カートリッジ取替えは下記手順で行って下さい。

PC の場合

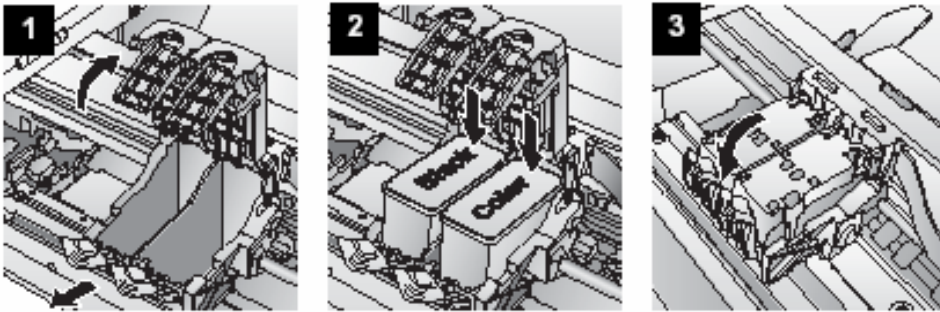
1. Cメニューのスタートをクリックし、プリンタ・ファックスメニュー画面を開きます。
2. カラーラベルプリンタ・アイコンを右クリックしてください。
3. ドロップダウンメニューから印刷設定をクリックしてください。
4. “Clean/Change Cartridges & Check Ink” のタイトルの付いているプロパティをクリックしてください。
5. “Change Cartridge” をクリックしてください。

Mac の場合

1. Utility フォルダの Application を開きます。
2. Printer Setup ユーティリティをクリックしてください。
3. Color Label Printer を選択してください。
4. メニューバーの Utility ボタンをクリックしてください。
5. Change Cartridge ボタンをクリックしてください。

PC/Mac 共通

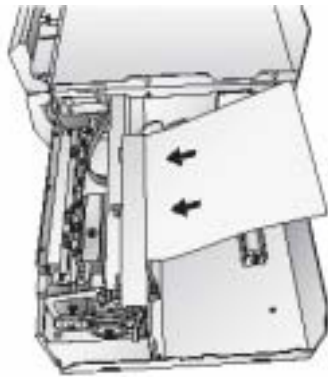
6. プリンタのトップカバーを開いてください。
7. カートリッジが印字部中央に移動してきます。
8. カートリッジ押さえカバーを押すと、カートリッジホルダーが開きます。
9. カートリッジの取り替え、装着を行ってください。
10. カートリッジカバーをかぶせ、カチリとはまるまで押してください。



11. スクリーン上の OK をクリックすると、カートリッジが装着された旨の表示が出ます。さらに OK をクリックすると、カートリッジの自動位置調整が行われます。

但しこの場合

1. この調整用に、101.6 x 101.6mm 又はそれ以上の大きさのラベル紙が装着されている必要があります。
2. 101.6 x 101.6mm より小さいラベル紙が装着されている場合は、Un-Load ボタン押しこのラベル紙を取り外します。
3. 横幅 210mm を超えないサイズの内紙に取り替えて下さい。スロートガイドを一杯に広げ、その用紙を用紙差し込み口に置くと、プリンタがその用紙を感知し、自動的に印字位置を合わせます。



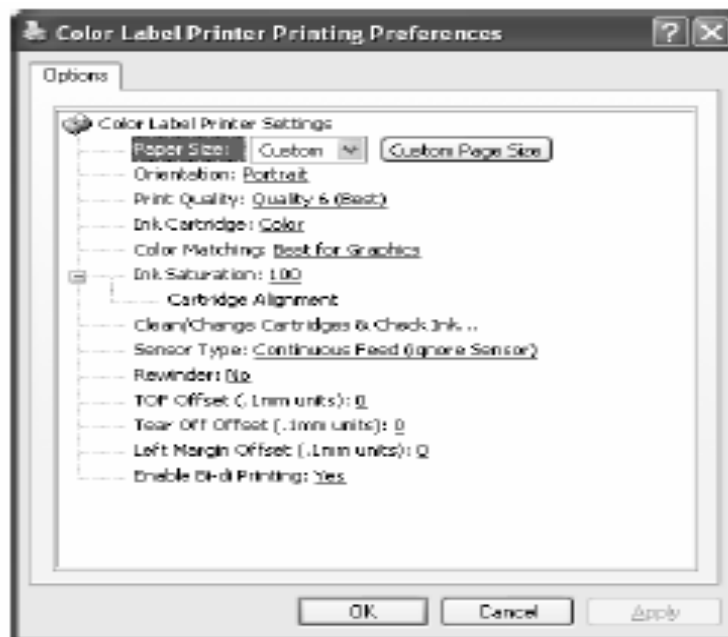
4. 終わったら OK をクリックして下さい。
5. プリンタがこのカートリッジ調整テスト結果を印字し、内容をスキャン・メモリします。調整が完了すると、画面上に確認のダイアログボックスが表示されます。OK をクリックして下さい。これでインクカートリッジは正しく装着されました。

D. プリンタドライバ・セッティング

プリンタ・ドライバがインストールされたら、印刷しようとする印刷オプションに合わせてドライバを設定しなければなりません。設定の変更又は設定オプション内容の確認は下記手順で行って下さい。

ドライバーの設定(PC の場合)

スタート ボタンをクリック、次にプリンタ・ファックスアイコンをクリック。そしてカラーラベルプリンタ・アイコンを右クリックし、ドロップダウンメニューから**印刷設定**をクリックして下さい。



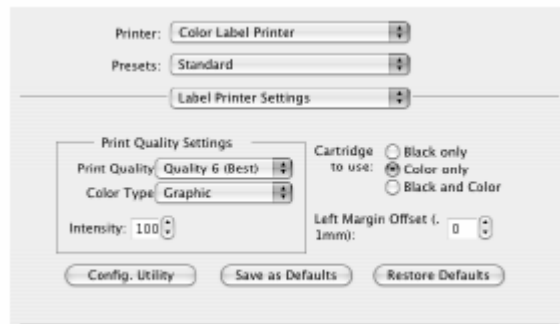
注記:ほとんどのアプリケーションは、“Print” 又は “Printer Setup” の画面で、プリンタドライバ・オプションの変更が可能です。従って、プリンタ・ドライバ中のセッティングや、オプションを変更したい時、その都度メインメニューのプリンタセットアップ・ウィンドウに戻る必要はありません。通常これらのアプリケーションで、プリンタ・ドライバの選択やオプションの選択・設定は出来ませんが、ほとんどのアプリケーションは、ドライバオプションの変更はセーブせず、作業中の画像についてのみその変更が有効です。

ドライバーセッティング(MAC の場合)

プリンティングアプリケーションで印刷をクリックすると以下の画面が表示されます。



Copy & pages をクリックして、Label Printer Settings を選択して下さい。



以下は PC, Mac とも手順は同じです。

ラベルサイズ

ラベルサイズの設定をカスタムとしてデフォルトに設定する為のオプションです。ラベルサイズ設定はプロパティをクリックし、ラベルサイズを入力することも出来ますが、ラベル印刷ソフトでラベルサイズ・セッティングは“Custom”にしておくことをお勧めします。

印刷方向

印刷方向のセッティングには、縦向き印刷と横向き印刷の2つの方法があります。文字や画像を、スクリーン表示通り左から右方向に印刷する場合は、縦向き印刷 (Portrait) をスクリーン上の文字・画像を90度回転して水平方向に印刷したい場合は、横向き印刷 (Landscape) を選択して下さい。



印刷品質

ドライバには6段階の印刷品質レベルがあり、印刷品質が一番低い場合、印刷スピードが最も速くなります。印刷品質レベル1が印刷スピードが最も早く、レベル6がベストの写真印刷品質です。ラベルをデザインする際に、それぞれのレベルでテストした上で、印刷品質と印刷スピードの最善の組み合わせを決めることをお勧めします。

カラーマッチング

“ベスト・グラフィック”モードは正確な色再現という点は少し劣りますが、グラフィック画像の印字には最適です。このモードで印字する画像には、より多くのインクを必要としますが、より鮮やかな画像となります。しかし人の顔を印刷する場合、肌の色合いが赤味がかかった画像になります。

“ベスト・フォト”モードは、正確な色再現が必要な写真画像などに最適です。このモードで印刷した画像は、通常のフォトモードで印刷した場合よりより明るい色となります。特に人の肌の場合、より自然な色の印刷となります。

注記: スクリーンラベルに印刷した場合、このカラーマッチングはドライバで制御出来ないため、この機能は働きません。ラベル表面がカートリッジ中のインクに反応し色合いが変わります。このように、同じ画像でも表面仕上げの異なる色々な種類のラベルで、印刷結果が全く異なるということが起こります。

インク彩度

これは画像印刷の際のインク使用量を制御するオプションです。デフォルト設定は 100%で、ベストのカラー彩度セッティングです。インクの乾く速度があまり速くない場合は、インク彩度を落としてインク使用量を減らすことも可能です。

レフトマージン・オフセット

これは工場で設定されています。微調整が必要な場合、セッティング数値を増やすとラベル上の画像の印字位置が右に移動、減らすと左に移動します。数値の単位は 0.1mm です。

Mac セッティング

Mac の場合、Config.Utility ボタンをクリックし、以下のセッティングを行って下さい。

カートリッジ位置調整

カートリッジ位置調整は、ブラックカートリッジの位置をカラーカートリッジの位置に合わせるものです。新しいカートリッジをインストールする際にこの位置調整はすばやく自動的に行われます。ラベル上で黒の印刷物がカラーの印刷物とはっきり配置されていない場合は、プリンタのドライバにある調整手順を実行してください。“Cartridge Alignment”をクリックすれば、**Properties**(プロパティ)のボタンが現れます。このボタンを押すと位置調整の手順がスタートします。この時、101.6mm x 101.6mm (4"x4") またその以上の大きさのラベル用紙を装着しなければなりません。装着したラベル用紙がこのサイズに合わない場合、**Unload** (取り除く) ボタンでサイズに合った用紙に取り替えて下さい。大きめのラベル用紙又は紙シート(幅が 209mm(8.25")より狭い物)をプリンタエリアに装着したら **OK** をクリックし実行させます。すると、プリンタが調整用パターンを印字し、そのパターンは自動的にメモリされます。この手順が完了すると、ダイアログボックスが表示され、セーブされた位置調整値を示します。

カートリッジのクリーニング/交換 & インクレベル・チェック

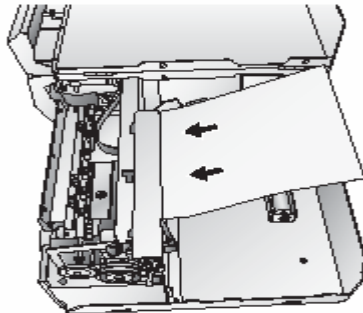
このセッティングをクリックすると**プロパティ**ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、インクレベル表示と、カートリッジをクリーニングするか又は取り替えるかを選択する為のボタンが

表示されます。

クリーニング

前回の印刷を行って 48 時間以上が経過したか、又は印刷品質に縦方向・横方向にひずみが見れ始めた場合、カートリッジのクリーニングが必要です。これは “Clean/Purge” ボタンをクリックして実行します。この手順は以下の通りです。

- A) 4" × 4" (101mm X 101mm) 以上の大きさのラベル用紙を装着するように表示が出ます既にその用紙が装着されている場合、OK をクリックして下さい。
- B) その用紙が装着されていない場合、そのサイズに合ったラベル用紙に取り替えて下さい。Un-Load ボタン押しこのラベル紙を取り外し、横幅 210mm を超えないサイズの用紙に取り替えて下さい。スロートガイドを一杯に広げ、その用紙を用紙差し込み口に置くと、プリンタがその用紙を感知し自動的に印字位置を合わせます。



- C) プリンタがラベルを感知すると、クリーニングパターンを印字します。パターンは一定の幅で各カラーを印字したもので、カートリッジのインク噴出口をクリーンにするためのものです。両カートリッジのそれぞれの色で斜線が印字されます。このパターンを見れば、カートリッジのすべての噴出口が詰まっているか、又はゴミが付いていて更にクリーニングが必要か解ります。カラーブロック全体が均一の色調で印字されず、斜線が途切れている場合、途切れがなくなるまでもう一度このクリーニング手順を繰り返して下さい。

カートリッジ交換

Change Cartridge ボタンをクリックすると、カートリッジは取替えを行いやすいように中央の位置に移動します。カートリッジを装着する際は、先の説明にあったように、カートリッジが一行に並びように装着しなければいけません。

センサー

LX810 に使っているセンサーは印刷画像がラベル紙に中央に来るようにする為のものです。標準のダイカットラベル又は位置確認用に穴が開けられているラベルを使用する場合、**Through-hole/Die-Cut** セットिंगを使用して下さい。黒のストライプ付きのラベルでラベル間の境界を示す線が入っているラベル紙を使用する場合、**Reflective** セットिंगを使って下さい。

リワインダモード

デフォルトは で、 にセットされていると、プリンタは印刷されたラベルを切り取りし易いようにティアオフバーに平行に排出します。
オートマチックリワインダ付きで LX810 を使用する場合は、Yes にセットして下さい。

TOF オフセット

TOF とはトップ・オブ・フォームの意味で、このセッティングがラベル上の印刷位置の細かい調整を可能にします。これは工場で調整済みです。細かい再調整が必要な場合、このセッティング数値を増やすと、レベル上の画像印刷位置が下方に移動します。数値の単位は 0.1mm です。

ティアーフ・オフセット

リワインドモードが No にセットされている場合、印刷されたラベルが簡単に切り取れるようにティアーフ上に排出されます。工場では No に設定されています。

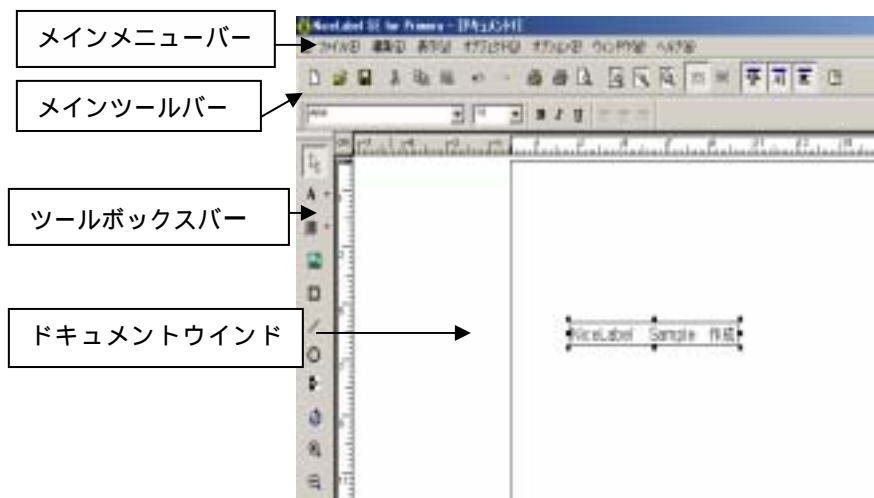
ラベルの切り取り線をティアーフに合わせるための微調整が必要な場合、このセッティング数値を増やすとラベルの排出位置が外になり、減らすと内側になります。数値の単位は 0.1mm です。

第3章 LX810 使用方法


A NiceLabelソフトの使用方法

LX810 には NiceLabel ソフトの基本バージョンが組み込まれています。
このソフトは、文字やバーコードのついたフルカラーラベルを簡単にかつ迅速に印刷出来るようにデザインされた
ものです。以下、サンプルラベルを製作しながら使い方をご説明致します。
コンピュータのスタートメニューから NiceLabel を立ち上げて下さい。
先ず、NiceLabel アプリケーションウィンドウを知っていただく為に、簡単にそのウィンドウについてご説明致し
ます。

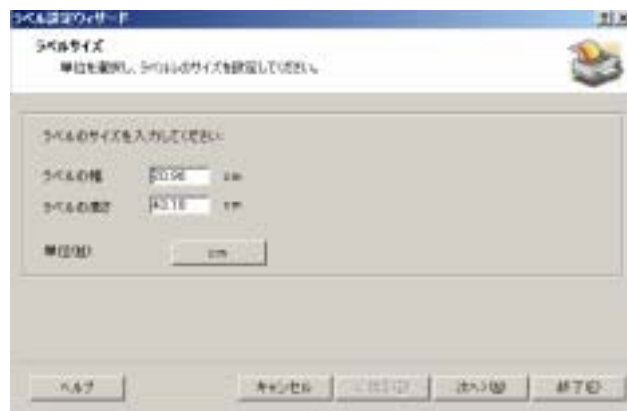
アプリケーションウィンドウ



B ラベル製作

1. メインツールバーのアイコン  をクリック
2. ラベル設定ウィザードが表示されます。ラベルセットアップについてはこの画面に従って下さい。

- a) 製作するラベルのサイズ及びサイズ単位を入力し、**次へ**をクリックして下さい。



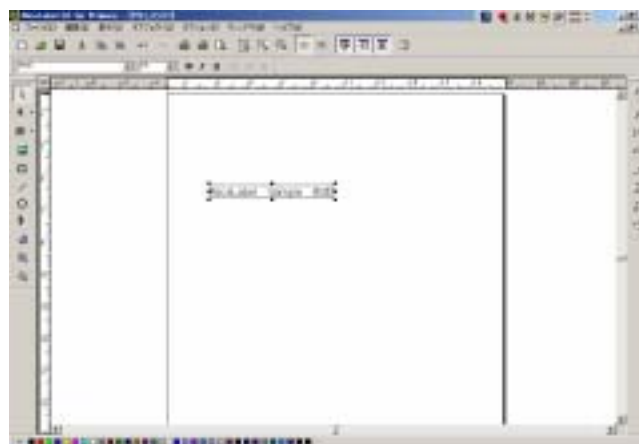
- b) プリンタは Color Label Printer を選択し、**終了**をクリックして下さい。



3. ドキュメント・ウィンドウに表示されているのが、これから作るラベルのサイズです。ツールボックスにあるツールを使ってラベルのデザイン作りをスタートしましょう。まず、テキストツールを使いましょう。



- a) ツールボックス中のテキストツールアイコンをクリックして下さい。次にドキュメントウィンドウ上でテキストカーソルを動かして、テキストを入れたい場所でクリックして下さい。位置/文字内容はこの時点では厳密である必要はありません。一旦テキストを入れてもサイズや・内容・場所は後で簡単に変わることが出来ます。ドキュメントウィンドウ中でクリックすると文字入力を開始するようにコンピュータが指示してきます。
- b) 入力が終わったら、ドキュメントウィンドウ中のどこでもいいですからクリックして下さい。入力したテキストが編集ボックス中表示されます。ドキュメントウィンドウ中のどこへでもテキストを動かしたり、サイズを変えたりすることが出来ます。テキストを印字可領域から外に動かした場合、テキストは赤色に変わり、印字可領域から出ていることを警告します。これはテキストが赤色で印字されるわけではなく、テキストがラベルに印字できる範囲外にあって印字できないことを警告するためです。



4. バーコードを挿入して下さい。
バーコードツール・アイコン  バーコードカーソル 

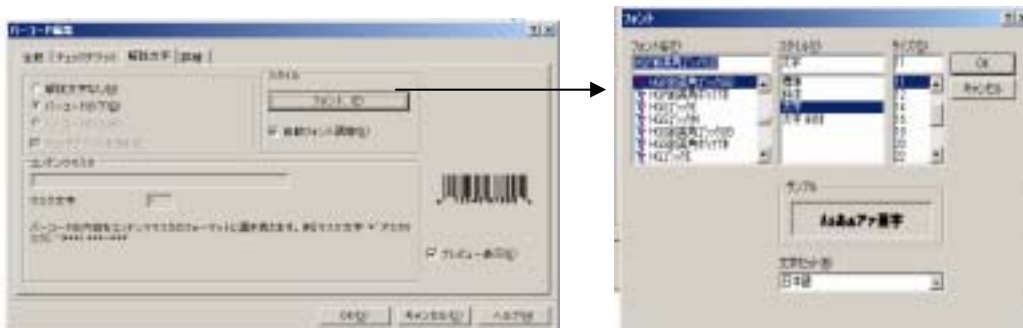
- a) ツールボックスのバーコードツール・アイコンをクリックすると、バーコードカーソルが現れます。このカーソルはドキュメントウィンドウ中どこへでも動かすことができます。バーコードを印字したい場所にカーソルを置いて、バーコードデータを入力して下さい。内容については、この時点では厳密である必要はありません。一旦入力した後でも、サイズや位置は簡単に変えることができます。クリックするとバーコードウィザードが表示されます。
- b) バーコードウィザード中の最初の画面で、印字したいバーコードのタイプを選択できます。バーコードにエンコードすべきデータを入力してください。ここでは例として単純な UPC-A バーコードを使っています。バーコードのタイプに関する情報は 3 章の B, NiceLabel によるバーコード製作の項をご照下さい。



- c) **定義**をクリックしてバーコードの種類を完全に变えるか又は、そのバーコードに関連のあるオプションのコードに変更するかを決め、同時にそのバーコードの**天地サイズ**や**横倍率**を決めて下さい。



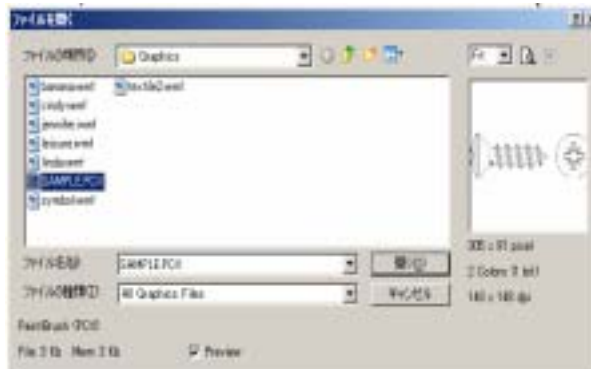
- d) **解説文字**タブをクリックし、印字フォントを変更して下さい。



- e) **OK**をクリックし、次に**終了**をクリックすると、バーコードが編集ボックスの中に表示されます。ここでバーコードのサイズや印字位置を決定します。



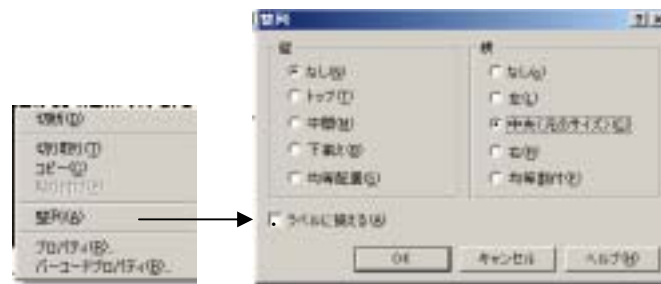
5. 次はグラフィックを入れます。ツールボックス中のグラフィックツール・アイコンをクリックすると、グラフィックカーソルが表示されます。グラフィックを入れたい場所にカーソルを動かしてクリックすると、ダイアログボックスが開きます。目的のグラフィック・ファイルを選んでください。NiceLabel は BMP, JPG, TIF, WMF, PNG 等にフォーマットされたビットマップグラフィックに対応しています。



- a) **開く** ボタンをクリックして下さい、編集画面に囲まれて画像が表示され、ここで画像の位置やサイズを編集出来ます。



- b) 他にも自由に画像やテキストを配置したり、追加したりするツールがあります。画面右にあるのはレイアウト編集用のツールで、ラベル上の複数対象物のレイアウトを編集することが出来ます。対象物をクリックしたり、Shift キーを押しながら個々にクリックし複数の対象物をまとめて選択して編集したり、ポインターを使って複数の対象物を一緒にドラッグしたりすることができます。選択した対象物上で右クリックし、ドロップダウンメニューの**整列**を選択すると、配置を決めることができます。ラベル上の対象物を中央に置きたい場合、中央揃えオプションを選択し**ラベルに揃える**のチェックボックスをチェックして下さい。



c) ラベルを印刷できる状態となりました。**ファイル**をクリックし、次にメインメニューの**発行**をクリックし、印刷枚数を選択して**OK**をクリックして下さい。
これでラベルの製作、印刷が出来ました。

この項の次のパートではバーコードラベルの作り方について詳しく説明いたします。
又メインメニューの**ヘルプ**次に**内容**をクリックして、その他の色々な使い方・ヒントを参照して下さい。

C バーコード製作

バーコードツール・アイコン  バーコードカーソル 

- ツールボックスのバーコードツール・アイコンをクリックすると、
- バーコードカーソルが表示され、カーソルはドキュメントウインドウ中どこへでも移動出来ます。バーコードを入れたい場所にカーソルを置いてクリックすると下記のバーコードウィザード画面が開きます。
バーコードウィザードの最初の画面で、印刷したいバーコードの種類及びバーコードに入れるデータ入力が出来ます。



・ **定義**をクリックすると、バーコードのタイプを変更することが出来ます。



・ この画面には、**全般**、**チェックデジット**、**解説文字** 及び**詳細**の4個のタブがあります。

- 全般タブでは“利用可能なバーコード”メニューから(詳細:次ページ)必要なバーコードを選択します。各バーコードは種類によって数値のみがエンコード出来るコード、大文字のみがエンコード出来るコード等、入力データ要件が異なります。バーコードの各種タイプについての詳細は、販売元にお問合せ下さい。

バーコードの種類は以下の通りです。

| | |
|-------------|---|
| EAN and UPC | EAN-8, EAN-8 + 2-digit supplement, EAN-8 + 5-digit supplement, EAN-13, EAN-13 + 2-digit supplement, EAN-13 + 5-digit supplement, EAN-14, DUN-14, UPC Case Code, UPC-A, UPC-A + 2-digit supplement, UPC-A + 5-digit supplement, UPC-E, UPC-E + 2-digit supplement, UPC-E + 5-digit supplement, EAN.UCC 128, SSCC, Bookland, Addon 2, Addon 5 |
| Linear | Interleaved 2 of 5, ITF 14, ITF 16, Code 39, Code 39 Tri Optic, Code 39 Full ASCII, Code 32, Code 93, CODE 128 (A, B and C subsets), MSI, Codabar, Postnet-32, Postnet-37, Postnet-52, Postnet-62, Kix, Pharmacode |
| RSS | Linear RSS symbologies RSS14, RSS14 Truncated, RSS14 Stacked, RSS14 Stacked Omnidirectional, RSS Limited, RSS Expanded Composite RSS symbologies RSS14, RSS14 Truncated, RSS14 Stacked, RSS14 Stacked Omnidirectional, RSS Limited, RSS Expanded, UPC-A, UPC-E, EAN-8, EAN-13, EAN.UCC 128 & CC-A/B, EAN.UCC 128 & CC-C |
| 2D Barcodes | 2D-Pharmacode, PDF-417, DataMatrix, MaxiCode, Aztec, QR, Micro QR, Codablock F, MicroPDF |

バーコードサイズ定義でバーコードのサイズを決めて下さい。バーコードの高さは、**天地サイズ**で数値をセンチメートルの単位で入力し、幅は**横倍率**としてセットして下さい。この場合、幅はあらかじめ決められた数値から選択しセットすることになります。

バーコードのサイズを、ドラッグハンドルを使って画面上で直接変更すると、その変更されたサイズがダイアログボックスに表示されます。

ある種類のバーコードは、バーの太・細比も決めることが出来ます。これは、1:2,1:3, 2:5 のように、プルダウンメニュー内であらかじめ決められた数値から選択することになります。

ナローバー幅(mils)は横倍率から自動的に計算されます。

- v. **チェックデジットタブ**では、システムで自動的に計算されたチェックデジットを使うことも、別の数値を入力することも出来ます。一部の種類のバーコードでは、このタブでチェックデジットをディセーブルにすることも可能です。

- ・ **解説文字タブ**では、バーコードと一緒に印字されている解説文字を書き込むことが出来ます。この機能をディセーブルにすることも可能です。バーコードの上又は下にテキストの位置を決め、チェックデジットを入力し、フォントのタイプ・サイズを選んで下さい。

詳細タブでは、バーコードの形状を、以下の内容で更に詳細を設定することが出来ます。

余白(マージンを含む):ソフトウェアが、自動的にバーコードシンボルの前後に必要なスペースのクワイエットゾーンを設定します。

ディセーダーバー:このオプションを選択すると、EAN13,EAN8,UPC A,及び UPC E の場合シンボルのスタート部、中間部、エンド部のバーだけを長くすることができます。

ミラー反転(水平):バーコードをグラフィックとして印刷することが可能です。

従ってそのバーコードを、横軸を境にして上下に同じものをコピーすることも可能です。

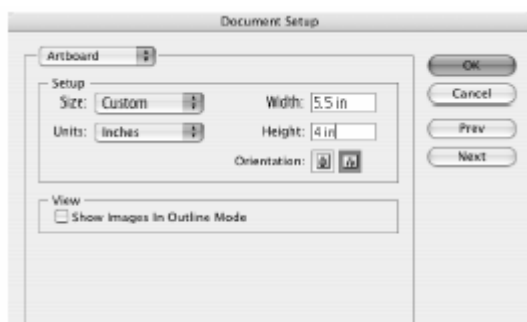
ミラー反転(垂直): バーコードをグラフィックとして印刷することが可能です。従ってその場合、バーコードを縦軸を中心に左右に同じものをコピーすることが可能です。

キャラクタ間ギャップ: 一部のバーコード(Code 39 等)では、バーコード中のキャラクタ間ギャップ変更することが出来ます。バーコードはグラフィックとして印字されます。

EAN の余白を含む: バーコードの前後に、バーコード幅を表示する特殊なキャラクタが挿入されます。他の画像がバーコードに重なっていると読取り度が低下します。このオプションは EAN コードの場合のみ有効です。

イラストレーターで作成のラベルを MAC で印刷する手順

1. File-New のコマンドでドキュメントを作成します。プリンタにインストールしたラベルの幅や高さを入力してください。



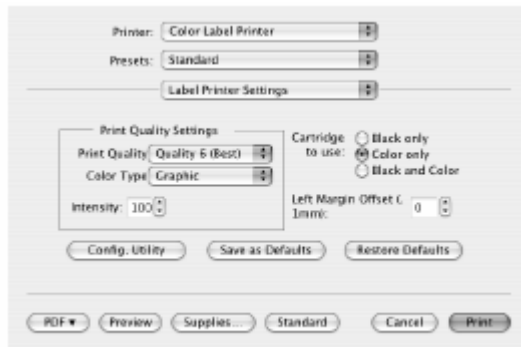
2. ドキュメントが作成でき、印刷準備が出来たら Print のファイルをクリックして下さい。以下のような画面が表示されたら、先ず最初にプリンタボタンをクリックし、印字及び印字品質に関する詳細を設定して下さい。



3. プリンタ設定画面のデフォルトは Copy & Pages になっています。矢印ボタンで“Label Printer Settings”を選択・クリックしてください。



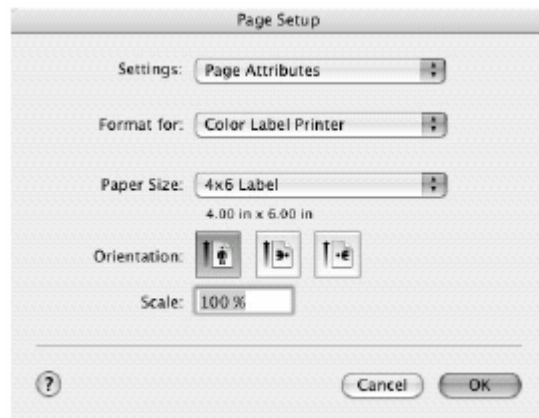
4. 印字しようとする内容に設定して下さい。



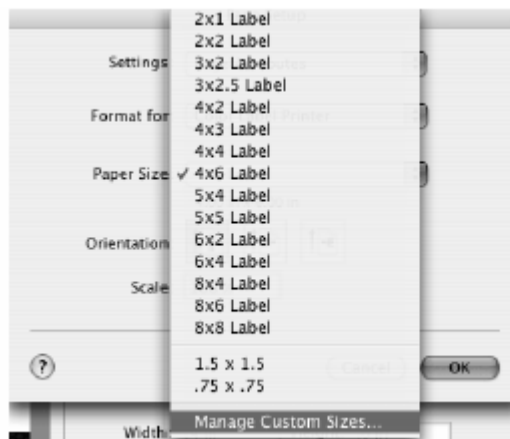
5. Print ボタンをクリックし印刷プレビュー画面に戻り、次に Page Setup ボタンをクリックして、ラベルサイズ設定して下さい。



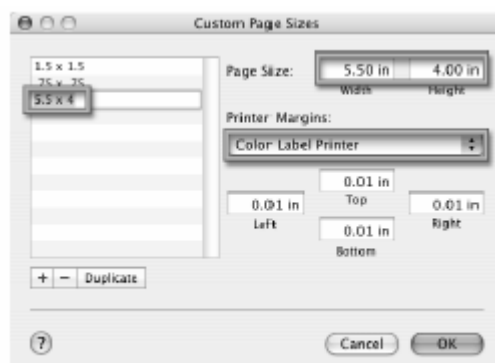
6. この画面で表示されているラベルサイズは、デフォルトの 4" x 6"か又は最後に印字したラベルで設定したサイズです。



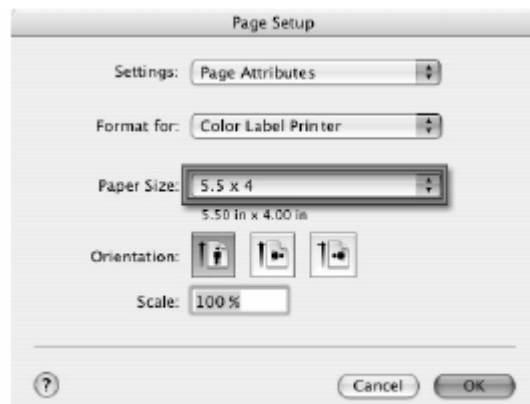
7. 矢印キーで、あらかじめ決められている規定のサイズリストから印字しようとするサイズを選択するか又は Manage Custom Size を選択すると、サイズは自由に決めることができます。



8. 規定のサイズにない 5.5"x4"のサイズにしたい場合、画面下方の + キーをクリックこのサイズを入力、次に Page Size を装着しているラベルサイズに変更、プリンタマージンを設定して OK をクリックして下さい。



9. カスタムサイズに印字する場合、再度そのサイズをドロップダウンで選択し、OK をクリックして下さい。



10. これでラベル印刷の準備が完了です。印刷する部数や印刷方向をチェックしてください。この時、どのようなラベルを印刷されるか画面の左下にプレビューされます。それを見て、周りに白いスペースがあるかどうかをチェックしてください。印刷方向を変えたりすることによってその白いスペースが消える場合があります。最後に、Print ボタンをクリックし印刷の実行を行ってください。



注記: 毎回印刷をする前にプリンタ設定及びページ設定を実行しなければなりません。また、正確なプレビュー画面が出るとしても、以上説明したステップの通りに印刷を行ってください。

MAC でバーコードを作成する方法

印刷するバーコードの作成ソフトを統一しなければなりませんので、MAC の場合は Mac Barcode Maker のソフトウェアを使ってプリンタと接続し、バーコードの作成、印刷が行われます。Mac Barcode Maker の購入はウェブサイトの www.barcodeformac.com をご利用ください。

該ソフトウェアは既に Adobe Illustrator(アドビ・イラストレーター)でテストされたものです。表示された指示に従ってプログラム上での該ソフトウェアの使用を行ってください。すべて統一して“EVAL”のスタンプをバーコードにプロデュースした機能充実なテスト版をウェブサイト上で申し込みができますので、ご利用ください。一方、市販のアプリケーションの使用は“EVAL”のスタンプが取り除かれる原因となります。

その以外のバーコードの統一するソフトウェアが利用できますが、プリンタとの互換性のテストを行っていないため、お勧めできません。

D 他のアプリケーションからの印刷

LX810 カラーラベルプリンタには Windows あるいは Macintosh の標準プリンタ・ドライバがインストールされていますので、実質的にはどの Windows 2000/XP あるいは Macintosh OS 10.x のアプリケーションでも印刷出来ます。この場合、必要なことは、使用するラベル用紙と同じサイズ(但しマージン幅はゼロ)と同じサイズのカスタムページを作成することです。

このサイズでラベルを作成し、ファイル をクリック、ラベルプリンタを選択し、印刷枚数を入力後、 をクリックして下さい。印刷が開始されます。

第4章 トラブルシューティングとメンテナンス

A. プリンタ・クリーニング

印刷時に横縞が入ったり、インクカートリッジのノズルがやや乾いている又は詰まっている疑いがある場合、カートリッジのノズルをクリーンにする必要があります。第2章 D 項の「カートリッジノズル・クリーニング」でご説明しています手順を参照して下さい。

インクがプリンタのハウジングについている場合は、アンモニアベースのガラスクリーナ及び糸くずの出ない布で拭き取って下さい。インクの過噴出のために、時間の経過と共にインクがプリンタの底に溜まる場合もあります。プリンタは溜まったインクをパッドに集めて吸い取るようにデザインされていますが、ある段階ではこのパッドを取り替えることが必要です。パッドを取り替えた方がいいかどうかは販売元のサービスサポートにご相談下さい。取り替え用インクパッドキットが準備されています。

B. 基本的なトラブルとその対応

通常は機能不全やアブノーマルな状態になった場合は、「PAUSE」のLED が点滅し続け、印刷及びホストコンピュータとプリンタとのコミュニケーションが出来なくなります。

問題が解決したら、PAUSE を押すとのエラーは解消し、印刷を続けることが出来ます。一般的なエラーとその対処ガイドは以下の通りです。

| トラブル内容 | 発生状況・表示 | 対応策 | 注記 |
|-----------------------------|--|---|------------------------|
| ギャップ欠落 | メディアがイジェクトされる、又はラベルの印刷開始点が判別出来ず、しばらくすると「PAUSE」LED が点滅し始める。 | -メディア・パスをチェック -センサ - の位置をチェック | 2章 B 項のラベル紙の正しい装着方法を参照 |
| 画像印刷位置が中央からずれる、又はラベル紙からはみ出る | ラベルが真っ直ぐフィードされていない、画像印刷位置の設定に誤りがある | -メディア・パスをチェック -スロートガイド及びロールガイドをチェック | 2章 B 項のラベル紙の正しい装着方法を参照 |
| ラベル用紙切れ | 「PAUSE」LED が点滅 | 新しいラベル紙を装着 | 2章 B 項のラベル紙の正しい装着方法を参照 |
| インク切れ | 「LOW INK」表示ランプ及び「PAUSE」LED 点滅、又は印刷品質の悪化 | -インクカートリッジ取替え -インクカートリッジ装着位置調整/実施 -インクカートリッジのクリーニング実施 | 2章 C 項のインクカートリッジ装着方法参照 |
| メディア/ラベル紙のジャム | プリンタが止まる、ラベルにダメージが現れると同時に「PAUSE」LED が点滅し始める | -Unload ボタンを押してメディアを反転させる -プリンタ内部の印字パスにラベルが残っていないか確認、残っているものは取り除く -新しいメディアを装着 | 2章 B 項のラベル紙の正しい装着方法を参照 |

C. 技術サポート

このラベルプリンタの操作について不明な点がありましたら、マニュアル中の手順を参照していただければ、大半は解決できると思いますが、それでも解決できない場合、下記までご相談下さい。

ムナゾウ株式会社

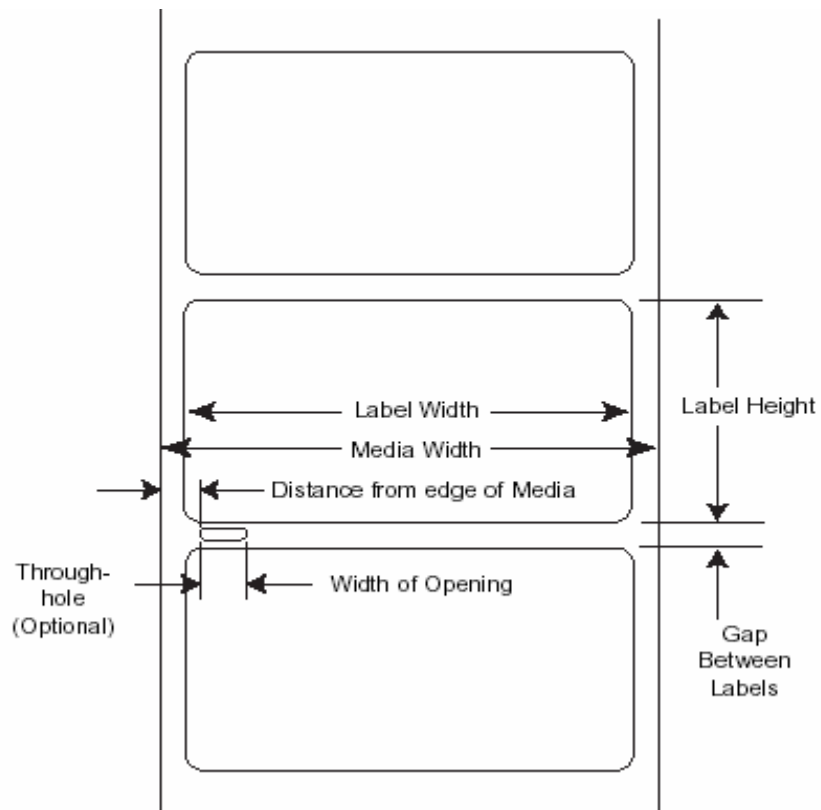
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6丁目9番 Kobe FMビル

電話:078-857-5447 Fax :078-857-5443

<http://munazo.jp>

E-mail : munazo@munazo.jp

第5章 ラベル定格



| | | 最大 | 最小 |
|----------------------------------|--------------------------|---------|---------|
| Label Width | ラベル幅 | 210mm | 19mm |
| Media Width | メディア幅 | 215mm | 38mm |
| Label Height | ラベルの高さ(長さ) | 609.6mm | 19mm |
| Gap Between Labels | ラベル間ギャップ | 253mm | 2.5mm |
| Through hole Width of Opening | スルーホール・オープニング幅 | 12.65mm | 6.325mm |
| Distance from edge of Media | メディアのエッジからスルーホールのエッジまでの幅 | 57mm | 5.06mm |

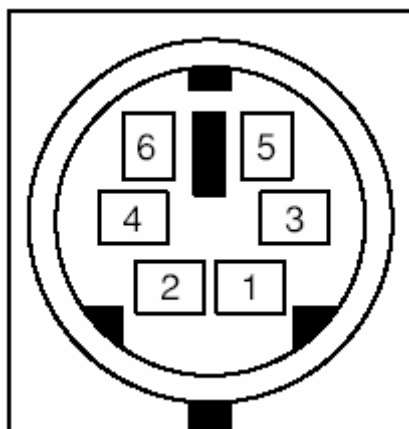
第6章 仕様

| | |
|---------------|--|
| 印字方式 | インクジェット |
| 解像度 | 4800 x 1200 dpi, 1200 x 1200 dpi, 600 x 600 dpi |
| 印字スピード | 約 51mm/秒 モノクロ印刷 約 38mm/秒 カラー/モノクロ印刷 約 253mm/秒 フィードスピード |
| インクカートリッジ | #53376 カラー・染料(CMY) #53377 黒・染料(Kd) #53020 黒・顔料(Kp) |
| カラー階調 | 16.7 百万色 |
| メディア・タイプ | ロール紙、感圧性接着ラベル |
| メディアセンサー方式 | ダイカット・ラベル:位置調整可能・透過型 ブラックストライプ付きタグ:反射型 |
| 給紙容量 | 最大直径 152mm, 巻芯 76mm |
| インク残量警告 | 印字済インク使用量から残り印字可能ラベル枚数算出 |
| 表示ランプ | Power, Pause, Ink 表示 |
| コントロールボタン | Pause, Load/Feed, Unload ボタン |
| オペレーティング・システム | Windows XP/2000 |
| データ・インターフェイス | USB 1.1/2.0 |
| 最低必要システム容量 | ペンティアム コンピュータ又はそれ以上、512MB RAM 5GB ハードドライブ空き容量、USB 1.1/2.0 ポート |
| ラベルデザイン・ソフト | NiceLabel ME Primera 版内蔵、その他のほとんどの ウインドウズベース・ラベルデザイン・ソフトに対応 |
| 電気定格 | 12VDC, 3.0A |
| 電源 | 100-240VAC,50/60 ヘルツ, 60 ワット |
| 対応規格 | UL, UL-C, CE, FCC クラス B |
| 本体重量 | 13.2 キロ |
| 外形サイズ | 432mm W x 231mm H x 394mm D |
| 保障 | 部品・レーバ-6ヶ月 |

第7章 補助ポートの仕様

6ピンの円形補助用インターフェースはオートカッター等補助機械がプリンタに接続する際に使用されます。

各ピンの割当は以下のようです。



5 v logic @ 5mA の電源で、ON にすると全ての信号はマイナスレベルに変わります。

| ピン# | 機 能 | 制 御 信 号 説 明 |
|-----|------------|--|
| 1 | 信号GND | |
| 2 | 切取り信号—出力 | ラベル紙が現れると、最小50m/secでカット命令がマイナスレベル信号で出力されます。 |
| 3 | プリンタ動作中 出力 | マイナスレベル信号が、プリンタが印刷中又は排紙中に出力されます。 |
| 4 | カッター位置—入力 | カッターが正常な位置(プラスレベル信号)にある。プリンタへのマイナスレベル信号入力で、次の印刷開始を保留します。 |
| 5 | リモート停止 入力 | プリンタへのマイナスレベル信号入力で、プリンタの動作を停止。次の印刷開始を保留します。 |
| 6 | 電源ON | ハイエンドは10 ¼Wの抵抗器を通り抜けるために+5VDCの電圧が必要です。最大電流は100mAです。 |

注記: “Present between every label(ラベルが現れる毎)”モードがアクティブとなって切取り信号が出力されます。また、リワインダーがプリンタドライバーの選択肢から“No”に設定されます。